

# みんなのた場

(文化財たんぽう) 87

## 特別天然記念物

### ニホンカモシカ

石巻市教育委員会 生涯学習課

昨今、石巻でも多数の目撃情報があるニホンカモシカ。市内では河北、北上、河南での目撃情報が多く、石巻地区でも目撃されています。

哺乳綱ウシ目ウシ科カモシカ属、簡単に言うと牛の親戚にあたります。脅かしたりしない限り、動かず好奇心満々の表情でこちらの様子を見入り、その姿が深く思索にふけっているように見えるところから、「山の哲学者」と呼ばれたりもします。

カモシカの肉はタンパク源、毛皮は敷物や尻当て、角はカツオ鈎等の利用

目的で狩猟され、大幅にその数を減らし、1955年(昭和30年)に国の特別天然記念物に指定されています。

カモシカの特徴は黒褐色、灰褐色の体色で、オス・メスともに角があります。非常におとなしい動物で、こちらから刺激しない限り人に危害を加えることはありません。住処を移動せず定着性の動物で、帰巢本能があり、自然と山に戻ります。

もし、ニホンカモシカを目撃した場合は、近づいたりせず、そっとあたたかく見守ってください。



市内住宅地近くに出没したカモシカ

## キラッとパチリ

### 石巻市の防災と復興を後押し

高旗さんは平成25年4月から、津波避難タワー整備や防災ラジオ販売等の業務に携わっています。防災担当は初めてですが、「市民の皆さんの不安を一つでも取り除くことができれば」と言い、単なる手伝いにならず「物言う派遣職員」

としてより良い仕事を目指します。趣味の釣りで震災前に何度か県南を訪れており、「被災地で何かできることを」と派遣を志願しました。同じ区職員の奥さんも東松島市で復興支援業務にあたっています。

す。石巻の魚介類を味わうことが楽しみで、休日は橋通りCommonをよく利用するそうです。一方、土木技師の長島さんは平成26年4月から、新蛇田南地区の区画整理事業を進めてきました。同地区では復興公営住宅の入居や宅地供給、「石巻あゆみ野駅」開業を控えています。「これから住む人が後々に故郷と呼べるまちなるようになるようにしたいです」と心に留め、事業のスピードアップに努めています。



総務部 防災推進課

高旗智之さん 46歳 東京都中野区から派遣



復興事業部 区画整理第1課

長島勝大さん 38歳 静岡県静岡市から派遣

派遣期間は限られますが、自身が手掛けた事業の完成を見届けることが願いです。休日は市役所の野球部で汗を流し、チームプレーを仕事に生かしています。「石巻で経験する全てのことを静岡市で伝えます」と話していました。



祝詞を手に笑顔の後藤さん

## 人生幅広く積極的に



後藤 キミ子さん 100歳 (石巻地区・茜平三丁目)

後藤キミ子さんは大正5年の1月1日に旧河南町須江の農家に8人兄弟の長女として生まれ、今年100歳を迎えました。ご長寿の秘訣について「幅広く生きること」と語る後藤さんは、90歳ごろまで地域活動に積極的に参加しました。老人クラブでの活動のほか、蛇田公民館の生涯学習教室「明笑大学」に皆勤する等、さまざまな場面で交流と見識を広めていきました。現在も週に6回通

うデイサービスでおしゃべりを楽しんでいるそうです。毎日、新聞にはきちんと目を通しているので話題が豊富で、どんな人とも会話が弾みます。身の回りのことは自分で何でもできるほど元気で、親類の皆さんは「これまで学んできたことが長生きにつながっているのじゃない」と話します。これからは「健康が大事。丈夫で過ごしたいですね」と明るい笑顔を見せていました。

### ◆投稿募集

皆さんからの投稿をお待ちしています。テーマに沿ったあなたのお話をお寄せください。

テーマ 「ありがとう」

日常生活の中で、皆さんの「ありがとう」に関する逸話(エピソード)をお聞かせください。

字数 400字以内

投稿方法 住所、氏名、年齢、電話番号を明記し郵送またはEメールで秘書広報課

あてにお送りください。掲載の場合はペンネームを可能としますので、ペンネーム希望の場合はその旨明記してください。

注意事項 公序良俗に反するもの等やスペースの関係上、投稿いただいたもの全てを掲載できるものではありません。また、字数等の関係で内容を調整させていただくことがあります。

☎ 秘書広報課(内線4023) 〒986-8501(住所不要)

✉ ispubinfo@city.ishinomaki.lg.jp

# まちの話題

## 雄勝地区



1月4日(月)  
大浜地区

### 勇壮な獅子舞で 新年祝う

雄勝町大浜地区の新年恒例の春祈禱はるきとうが行われ、力強い太鼓の演奏とともに勇壮な獅子舞が地区内の住宅や福祉施設、船着き場等を回り、1年の安泰と豊漁等を祈願しました。今年は、昨年4月に宅地供給された防災集団移転団地でも披露しました。古里に戻って来た人たちは、長く親しんできた舞を再び見ることができ、「良い1年になりそうです」と笑顔を浮かべていました。

## 河北地区

12月20日(日)  
上品の郷

### 冬至にポカポカ かぼちゃ風呂



二十四節気の冬至(12月22日)にちなみ、道の駅・上品の郷の「ふたごの湯」に巨大なカボチャをくり抜いて作ったユズ風呂が登場しました。冬至にはユズ風呂で体を温め、カボチャを食べると風邪を引きにくくなるという風習があるため、毎年子どもたちを対象に入浴サービスを行っています。幅1.2メートルのカボチャでできたお風呂には次々と子どもたちが入り、楽しんでいました。

## 桃生地区

1月3日(日)  
桃生総合支所



### 1年の安全願い 初空に七色のアーチ

市消防団桃生地区団の平成28年出初式が行われ、団員200人が市民の生命と財産を守る決意を新たにしました。はじめに文化ホールで式典を開き、長年団活動に貢献してきた団員たちに各種表彰状が贈られました。その後、屋外を会場に、堂々と分列行進を披露したほか、1年の無火災を願う一斉放水で新春の青空に七色の虹をかけました。

## 河南地区

### 陶芸作品の上達祈り 初窯開き

1月7日(木) 河南老人福祉センター



陶芸教室の初窯開きでは、受講生たちがこの1年の技術向上を祈願した後に窯が開けられ、昨年制作した個性豊かな色や形をした皿やカップ、置物等が運び出されました。一人一人が作品を手に取りながら仕上がりを確認したり、お互いに見せ合いながら新たな創作意欲をかきたてていました。その後、講師による陶芸作りの実演が行われ、受講生たちは今後の参考にしていました。

## 牡鹿地区

1月5日(火)  
寄磯漁港等



### 地域に福呼ぶ 子ども大黒舞

寄磯地区に古くから伝わる正月行事「子ども大黒舞だいくまひ」では、七福神ふんに扮した子どもたちが縁起の良い元気な舞いで、地域の平穏や家族の無病息災、大漁や震災からの復興等を祈願しました。この日のために昨年からの練習してきた中学生6人と小学生9人が、米俵を囲み、勇壮な太鼓の音と歌に合わせ軽やかに舞い踊ると、地域の人たちも笑顔で拍手を送っていました。

## 北上地区

12月25日(金)  
にっこりサンパーク入口前

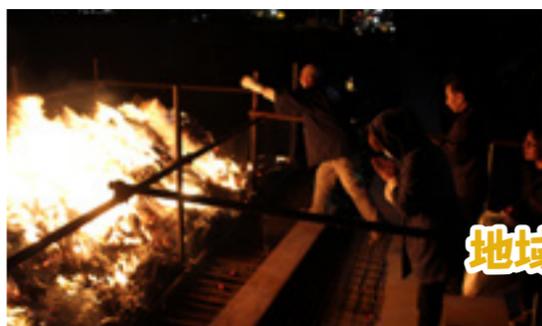
### 復興祈願の ジャンボ門松



北上特産のヨシで作った高さ約4メートルのジャンボ門松が2基設置され、1月7日まで地域を活気づけました。毎年恒例の冬の風物詩で、平成23年は震災の影響で中止としましたが、24年以降は復興祈願の思いも込めて実施しています。「復興」「賀正」と記した幕が張られた門松は堂々とした姿で、北上のシンボルとして帰省した人たちにも喜ばれました。

## 石巻地区

1月7日(木)  
住吉公園内大島神社前



### 地域の復興を照らす どんと祭の炎

正月飾りをたき上げる伝統行事「どんと祭」には多くの人たちが足を運びました。旧北上川に突き出すように設置された「たき上げ台」に火がつけられると、しめ縄や松飾り等が次々と投げ入れられ、訪れた人たちは1年の健康を祈ってそっと手を合わせていました。また、無病息災や商売繁盛、震災復興等を祈願する恒例の「裸参り」も中心商店街で行われ、地域を活気づけました

## 石巻地区

1月5日(火)  
石巻市総合体育館

### 新年の気合い入れて 寒げい古



新年恒例の「1万人寒げい古」には、市内で活動する9つの武道団体から約300人が参加し、今年最初のけい古に励みました。厳しい寒さを克服し、たくましい身体と気力を養おうと、長年開催されています。開講式の後、競技ごとに会場を分けて練習が行われ、参加者たちは1年間の上達を願いながらそれぞれ基本動作や技の確認、実践等に取り組みました。